

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: かずマネジメントオフィス

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別や各種ハラスメントについて”しない”体制・運営を徹底している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・「労働安全衛生方針」を代表が策定・明文化・周知している。 ・業務中の作業毎に危険源の特定・リスクアセスメント・対応・有効性評価・内部監査・活動評価を継続(PDCAサイクル)している。 ・メンタルヘルス確保のために、キャリアコンサルタント有資格者によるキャリアコンサルティングの機会を年1回・随時設けている。			3						8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・キャリアコンサルティングや個人面談などを実施し、スタッフの公正な待遇を行っている。					5.5				8.5		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・労働時間の管理や、業務効率化による労働時間の短縮など働き方改革への改善・提案を受け、推進している。家事・育児・介護・看護やボランティア活動への積極的参画などの環境を整えている。			3		5.5				8.5 8.8		10.3								
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・研修体制の整備や必要経費の支給により、外部研修の受講や各種資格の取得を奨励している。				4	5.5				8	9									
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・全員が年度目標を設定し、健康項目の達成が一番優れていると判定されたスタッフを表彰している。			3						8									17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。				4.4	5.1 5.5				8.5		10.2 10.3							16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議を導入している。		●	・在宅勤務(テレワーク等)やウェブ会議の導入を推進し、かつ紙媒体の使用を極力避け、データでの情報授受を基本としている。 ・ウェブ会議機能を利用し、各会議や講習会を開催している。			3						8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●											8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●					3	4					8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: かずマネジメントオフィス

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・熊本市の「ゴミ出し3原則(※)」に則り、廃棄物の抑制・分別に取組み、適切な管理・排出に取り組んでいる。(※:①決まったごみを②決まった日に③決まった場所に出す) ・乾電池の分別、ペットボトル、空き缶等の分別・管理、排出している。 ・電力やガソリンなど、エネルギー使用量を把握し、低減に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・オフィスの照明は順次LED化に取り組んでいる。携帯可能な照明は太陽光発電で充電している。 ・エアコンは、運転時に大気中へ放出していた熱エネルギーをチャージ(蓄熱)し、このパワーで設定温度をキープしながら除湿もし続けるものに変えて、省エネ性もアップした。							7.3							13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出しており、事務所使用の車両はハイブリッド車を使用し、アイドリングストップ、安全運転をしている。 ・できるだけ公共交通機関を利用している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・紙は、FSC認証取得または100%再生紙(R100)を購入している。 ・出張の際、宿泊先の歯ブラシやコームなど使用せず、自分用のものを準備・使用し、プラスチック製品の使用・廃棄の低減に務めている。 ・マイバッグを全スタッフに配布するなど、レジ袋の使用削減に務めている。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。例:プリントアウトは極力控え、必要な場合は両面印刷・縮尺変更する等。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・「節水」や「汚水等の適切な処理」等を実施している。 ・事業所内設備に「節水」表示し、意識を向上させている。 ・節水の為の改善提案を受け実践している。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・可能な場合、ISO14001取得企業の製品購入を推進している。 ・環境に配慮した製品の購入(グリーン購入、再資源化している製品)										9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・食育研修の際、規格外やキズあり野菜等を購入するよう努め、受講者に食品ロス削減の重要性と取組の方法について周知している。 ・オフィスの食事会の際、必ず(100%)小盛メニューや小盛を要求し、食品の廃棄ゼロ・低減となるよう努めている。	1	2					6.4							12.3		14	15			17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・オフィスのプランターに花を植えたり、執務室には鉢植えの植物を配置し緑化・管理に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15				17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		・携帯用照明は太陽光で発電するタイプのものを使用している。 ・オフィスの照明は順次LED化に取り組んでいる。 ・エアコンは、運転時に大気中へ放出していた熱エネルギーをチャージ(蓄熱)し、このパワーで設定温度をキープしながら除湿もし続けるものに変えて、省エネ性もアップした。								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・ミーティングテーブル・椅子、事務机、一部のキャビネット等は国産木材を使用した製品を使用している。 ・今後のオフィス用品の購入については、森林資源の循環利用に有効な製品であることを優先する計画である。						6				9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・プラスチックの使用削減や環境に優しい素材の使用に取り組んでいる。ボールペンは替え芯を購入し、廃プラの減量に努めている。													12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・できるだけ車両の使用を削減し、徒歩移動や、公共交通機関の利用を促進している。 ・事務所用車両は、ハイブリッド車である。										9.4			11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.6 11.a	12.8	13					17.2	

